

私が主役 あなたも主役 みんなのパワーが県民活動

さぼ〜と21

財団法人 やまぐち県民活動きらめき財団
TEL 083-924-9090 FAX 083-924-9096
URL <http://homepage3.nifty.com/kirameki/>
E-mail kirazd@nifty.com

やまぐち県民活動支援センター
TEL 083-934-4666 FAX 083-934-4667
URL <http://www.kenmin.pref.yamaguchi.lg.jp/>
E-mail myama@mbe.sphere.ne.jp
753-8555 山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館4階

きらめき通信 第 **12** 号
2005.3

Contents

■特集

センター設立5周年記念企画
「トーク&トーク」
県民活動のこれから
センターのこれから

■Close Up/活動団体紹介

- ・らん交流センター支援グループ「kaze」
- ・NPO法人 共生のエートス
- ・NPO法人 さわやか防府
- ・劇団「わ」

■お知らせ

きらめき財団から
県民活動振興基金へご協力！
助成金のお知らせ

支援センターから
ホームページのアドレスが変わりました！
平成16年度やまぐち県民活動支援センター活動報告

センター設立5周年記念企画 「トーク&トーク」



1999年10月にオープンして以来、やまぐち県民活動支援センターは昨年10月で丸5年が経過しました。ボランティア国際年、各市町の活動センターの設立、山口きらら博での県民参加の高まり、県民活動支援センター民営化など、いろいろな情勢の変化、県民活動の広がりがあった5年間。これまでを振り返りながら、これからのセンターに求められるもの、県民活動の今後について考える座談会を開きました。



安達 智(あだち さとる)さん
伊藤 和子(いとう かずこ)さん
蔵重 千恵子(くらしげ ちえこ)さん
船崎 美智子(ふなざき みちこ) 進行

船崎 まずはみなさんの活動内容を教えてくださいいただけますか？

安達 私は主に、災害救援、環境、福祉、スポーツの4分野で活動しています。平成3年の台風19号で大変な災害に遭いましたが、この時災害ボランティアを立ち上げました。機動的に援助活動をしてもらおうと、一般ボランティアと技術ボランティアの2種類のしくみを作ったんです。また去年は「やまぐちの乗馬をすすめる会」というNPO法人を作りました。私の活動は全てコミュニティ活動が原点です。

蔵重 私は、「山口おやこ劇場」で活動を始め、2000年にNPO法人「こどもステーション山口」になり、事務局を務めて13年になります。NPO法人になってから、子どもたちが参加しやすいように、大人の会費で子どもの活動を支えていこうということで、子どもの会費は無料としました。私たちが理想とするのは、「社会が子どもの文化を保障する」ことです。社会が発展して子どもの医療や教育

県民活動のこれからセンターのこれから

面が無償化が進んできたので、やがては「文化も子どもにとって大切だ」ということを、社会が認識して保障していくようになるだろうと思っています。

伊藤 私たちの活動は2000年の『子ども読書年』から出発しています。ちょうど県民活動支援センターがオープンした時からお世話になっています。子どもの読書ばなれが問題視される中、国会で『子ども読書年』が決議され、私たちは「山口の『子ども読書年』推進実行委員会」として名乗りをあげ、参加・活動し始めました。読書年の終わった2001年からは「こどもと本ジョイントネット21・山口」として、活動を継続しています。活動はある程度実を結んでいきつつある一方で、子どもの心の成長の各段階で読書が大切なので、家庭でのことか、ブックスタート か中高生か、どこからスタートしていいのかが幅が広がってしまって、今迷いつつあります。

ブックスタート事業：

乳幼児とその保護者に、絵本にふれる機会を提供することで、子どもの読書活動を推進するとともに、絵本を通して親子の絆を深め、乳幼児の健全な心を育むことを目的としている。

「さぼ〜と21」は、各市役所、町村役場・公民館・図書館・各市町の活動センター・一部の大型店・道の駅等で配布しています。イベント、助成金情報はメールマガジン「さぼ〜とメール」にてお届けしています。配信や情報掲載のご希望については、お気軽に支援センターまでお問い合わせください。

県民活動のこれから センターのこれから

第3段階に入った県民運動

船崎 これまで活動してこられて、時代の流れが変わったなとか、活動する上での変化など気づいたことがあれば教えてください。

安達 山口県の場合、県民活動の一つの区切りが20年間隔で変わっています。1960年に全県的な新生運動が展開される。次の段階は1980年のふるさとづくり県民会議、自立と連帯による住みよい山口県のふるさとづくりを目指しました。新生運動から20年たって、自立と協働という方向に一步踏み出したわけです。

そして1999年、自前の独立した自主的なカラーのある活動をやっていこうと、やまぐち県民ネット21を立ち上げました。県民活動支援センターが開所したのもこの年です。したがって今、第3段階に入った県民運動、これからは本格的な県民活動だと、私は思っています。

数値的な話で言えば、NPO法人の認証数(図1)は県民比率からして全国的に真ん中くらいなんです。県民活動支援センターに情報を登録している団体数(図2)も、増えています。個々の団体の活動内容としてはそれぞれご苦労もあるかと思いますが、概数的に見れば非常にいい状態、県民活動の広がりを感じます。

蔵重 30年くらい前は、民間で、自主的に何かをしたいという形で集まる、それも、お稽古ごととかではない団体は、非常に少なかったんです。だから、その頃は理解を得るということが非常に難しく大変だったということを聞いています。



現在は、NPO法ができた当初から比べてみても、世の中がそういう活動をごく自然にあることとしてとらえるようになってきたと思います。反面、行政などでは、NPO法自体を本当にご存じか疑問を持つところや、これだけたくさんの自主的・自発的な活動をしている団体があるのに、施設の利用でまだ理解の浅い窓口があるのを、実感として感じますね。

伊藤 私たちも「NPO法人になぜならないのか」とよく質問されます。今のところ、いただいている助成金を使って目的の活動を行うだけで精一杯の状態です。NPO法人については、今から勉強します。

図1 NPO法人認証数の推移(山口県)

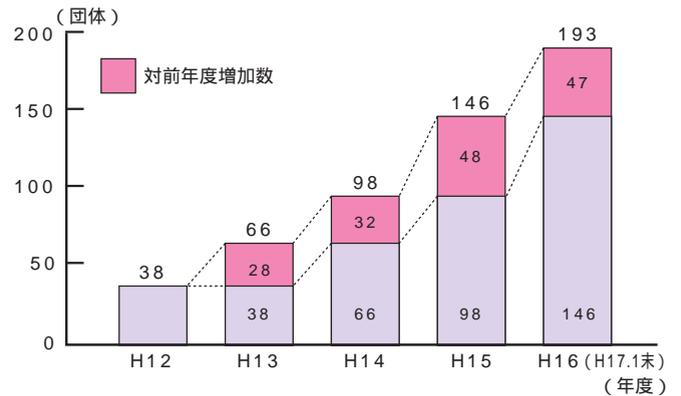
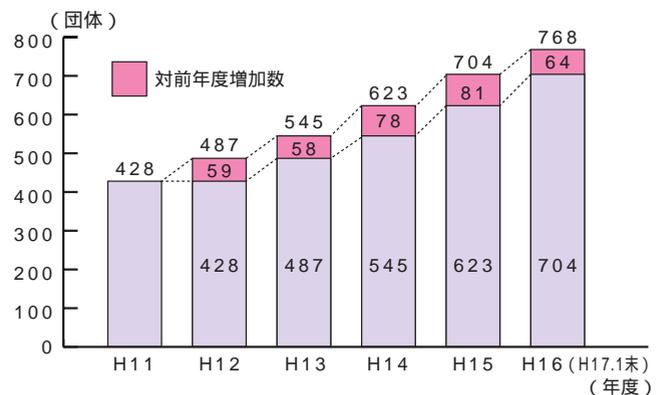


図2 県民活動支援センターの情報登録団体数の推移



県民活動のあゆみ 1

1950 (S25)	農村における自主的な村づくり運動が展開	1999 (H11)	3月	「県民活動の活性化に関する報告書」 (県民活動支援システム検討委員会)
1960 (S35)	(社)山口県新生運動協会設立 全県的な新生運動が展開		10/1	やまぐち県民活動支援センターオープン
1978 (S53)	(財)山口県ボランティア振興財団設立	2000 (H12)	4月	地方分権一括法施行
1980 (S55)	山口県ふるさとづくり県民会議設立 あたたかいふるさとづくり運動		11/1	いわくに市民活動支援センター「サボネット・いわくに」オープン
1989 (H1)	山口県ボランティアセンター開設	2001 (H13)	【ボランティア国際年】	
1995 (H7)	1/17 阪神・淡路大震災		1/27	宇部市民活動センター「青空」オープン
1997 (H9)	1/2 タンカー(ナホトカ号)重油流出事故		4/1	下関市NPO等支援センターオープン
1998 (H10)	2月 「新しい県民活動についての提言」(県民運動のあり方検討委員会)		4/1	みずみ町民活動支援センターオープン
	3月 特定非営利活動促進法成立		7/14	山口きらら博開催(～9/30)
	12月 特定非営利活動促進法施行		10/27	徳山市(現・周南市)市民活動支援センターオープン
			12/1	山口市市民活動支援センター「さぼらんて」オープン

NPO法人になってから

船崎 NPO法人になる前となつてからの違いや、運営されていく中で実感されたことをお話していただけますか。

蔵重 NPO法人になったから、社会的に認知されて助成金をもらいやすくなったとか、窓口でスムーズな対応になったというわけでは、全然ないですね。外的なメリットというよりも、自分達の活動の足腰が強くなったんじゃないかなと思うんです。社会的な責任が伴うということ、そのために外に向けてきちんと説明をしようとする、自分達は何をしたいのか、見つめ直したりするようになる。だから、責任を持つということが、イコール自分達としてのメリットだと思っています。

NPO法人化を検討する時に、3年先、5年先を見て、「私たちはどうなりたいのか」という話し合いを何度も繰り返して、その中で方向が見えてくるというのが大事じゃないかなと。その話し合いこそが重要じゃないかなって。私たちはそれに1年半を費やしました。

安達 それまでも、同じことに取り組んでいたんですがね、法人格を持ったことで、責任を感じるようになったということがメリットの第一点。常に反省しながら活動へ取り組むというような意識が強まりました。そしてもう一つは、全国的なレベルでの協働化が進めやすい。同じレベルで、同じ考えで、同じ一つの責任性をもった者同士がネットワークする、それによってより未知の力が湧いてくると思います。蔵重さんが言われたように、NPO法人化は方法だね。

蔵重 そうです、手段ですよ。あくまでも。



蔵重 千恵子 さん

山口市在住。
NPO法人 子どもステーション山口理事・事務局次長。
やまぐち県民活動支援センター出前アドバイザー。
元山口県県民活動審議会委員。活動歴20年。



子どもステーション山口の活動

やまぐち県民活動支援センター 民営3年間の事業内容

:新規事業
:従来事業

2002(H14)年度

相談業務
出前アドバイザー派遣
NPO法人設立相談
ホームページ管理
情報誌「さぼ～と21」発行
メールマガジン「さぼ～とメール」発信開始
「意見交換会」開始
山口きらら博メモリアルイベント
(リレーイベント・ファイナルイベント)
県民活動ボランティアフェスティバル2002



出前アドバイザー派遣

2003(H15)年度

相談業務
出前アドバイザー派遣
NPO法人設立相談
ホームページ管理
情報誌「さぼ～と21」発行
メールマガジン「さぼ～とメール」
意見交換会
リーダー養成セミナー
(ワークショップセミナー)
協働ネットワーク事業(おでかけ相談会、活動発表会)
県民活動ボランティアフェスティバル2003



意見交換会

2004(H16)年度

相談業務
出前アドバイザー派遣
NPO法人設立相談
ホームページ管理
情報誌「さぼ～と21」発行
メールマガジン「さぼ～とメール」
意見交換会
リーダー養成セミナー
(ワークショップセミナー)
協働ネットワーク事業
(おでかけ相談会、活動発表会
県内3ヶ所でコア会議を重ね、
ネットワークづくりのイベントを開催)
マネージメントセミナー
県民活動ボランティアフェスティバル2004



おでかけ相談会

県民活動のあゆみ 2

2002 (H14)	4月	やまぐち県民活動支援センター公設民営化
	4月	(財)やまぐち県民活動きらめき財団設立
	4月	「山口県県民活動促進条例」施行(県)
	6月	「県民活動推進本部」(本部長:知事)設置(県)
	6月	「山口県県民活動審議会」設置(県)
2003 (H15)	3月	「山口県県民活動促進基本計画」策定(県)
	4/5	新南陽市市民交流センター(現・周南市西部市民活動支援センター)オープン
	6/1	からとん@はうす(下関市)オープン
	11/23	防府市市民活動支援センターオープン
2004 (H16)	3月	「県民活動団体との協働に関するガイドブック」作成(県)

受けるなど、どちらかというと受身的な活動が多かったのではないかと。これからはもっと先を見て、ある程度活動のリーダーシップをとっていけるような支援センターが、必要とされてくるのではないのでしょうか。

したがって、一カ所なら一カ所でも、これから「第2段階の県民活動支援センターのあり方」を真剣に考える委員会を作って、専門的に検討する時期に来ているのではなかろうかと考えます。

伊藤 災害に遭われた地域に対して、自分たちの活動からどういうふうなボランティア活動ができるのかと考えることがあります。「災害に遭われて絵本が足りないというところがあれば、贈りたいね」って話してはいるんです。専門的になってしまうので難しいかなとも思うんですけど、自分達の専門的なことで災害時に何ができるか、図書館がどういう状況なのか等の情報を、県民活動支援センターからいただけたらとも思います。

安達 県内の団体の素晴らしい活動を、しっかり評価してほしいなとも思います。今までの活動を評価し顕彰し発信し、それが刺激になって県内に活動の輪が広がっていく、活性化していくというような働きも、県民活動支援センターにあるといいですね。また、インターネットによる活動の推進も忘れてはなりませんね。

船崎 相談方法も、来所されるより電話やファックス、メールを使ってされることが増えてきました。利用形態に変化が見られます(図4)。



船崎 美智子
周南市在住。
やまぐち県民活動支援センターセンター長。
NPO法人 やまぐち県民ネット21理事。
支援センターが民営化され「やまぐち県民ネット21」が受託して以降、センター長を務める。

図4-1 県民活動支援センターの利用者数の推移

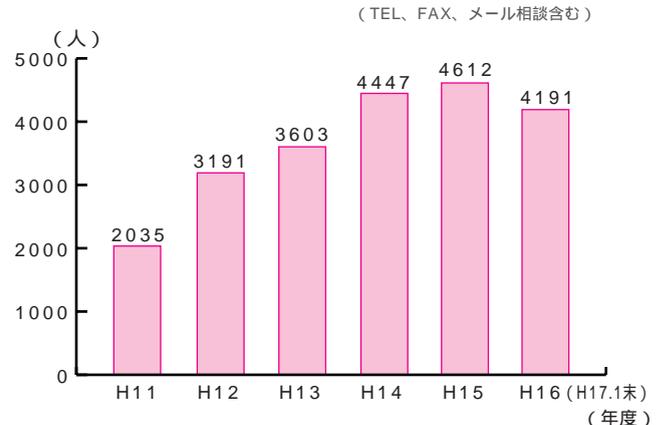


図4-2 利用形態別相談件数の推移

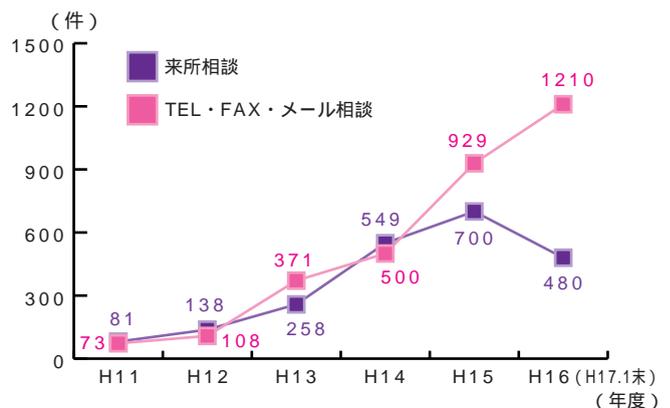
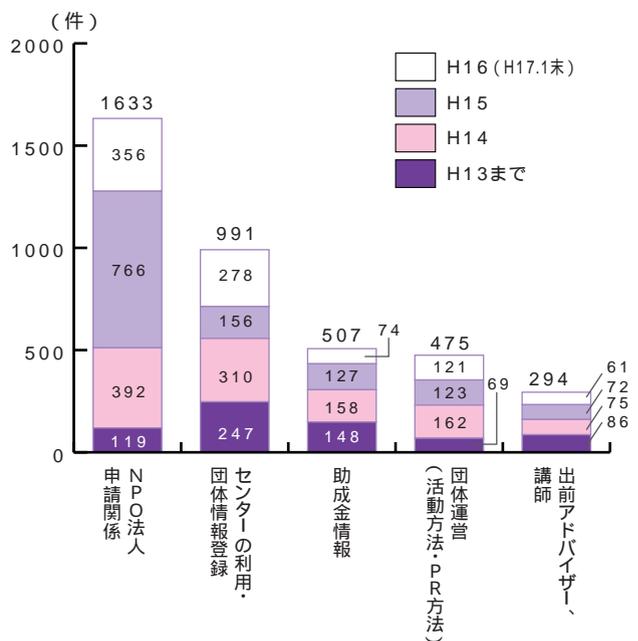


図4-3 主な相談・照会内容



県民活動のこれから センターのこれから



組織力と協働

船崎 今後の県民活動について、考えておられることを教えてください。

蔵重 協働 ということが、これからどう進められていくかが、今一番関心があることです。協働という言葉の受け止め方とか実際の定義というところでは、行政や団体、段階によって受け止め方が違うんだなと思いますが、県は協働を推進しているので、その協働がこれからどのようになっていくのか、県民活動支援センターもその要になってほしいと思っています。

協働：
相互の存在意義を認識し尊重しあい、相互にもてる資源を出し合い、対等な立場での共通の目的を達成するため、お互いに協力すること。
(「山口県県民活動促進基本計画」より)

船崎 協働という言葉が出ましたが。

安達 協働という言葉はいいですけどね、実際の協働は、大変難しいと感じます。まずは団体が力をつけないと。一つ一つの団体の底上げ以外には、県民活動全体の力を上げる手はありません。全体の底上げが非常に大事だということを強調して提言します。やっぱり一人一人がいかに輝くか、一団体一団体がいかに輝くか、一地域一地域がいかに特色のある輝きを放つか、ここじゃないかと思うんです。

蔵重 大切なのは、みんなが住みやすい町になっていくために何が必要か、ということなんですよね。長い目で見て大切な問題として考えて、必要な活動が生まれたり、団体が協力しあったりしていくといいなと思います。

伊藤 私たちの活動で、希望を最終的に叶えてくれるのは、今のしくみの中では行政だと思います。ブックスタートの必要性を訴え、最近、県内各地で取り組まれるようになったんですけど、その方法自体は、こちらの思いがなかなか伝わらない方

法なのです。提案や「協力します」と言うんですが、なかなかうまくいきません。協働の方法というか、上手な連携のしかたを他の団体さんと話し合っていけたらなと思っています。

船崎 最後に一言ずつメッセージをお願いします。

蔵重 子どもが受難の時代ですが、いろいろな意味で子どもの道草が許される時代、もう一度そういう社会にしたいし、そのために力を出したいです。文化、芸術に触れることは、子どもたちにとって栄養なんだということで、子どもたちが身近に触れられる、そういう社会にやがてなる、と夢んでいます。

伊藤 私たちも同じ思いなんですけれども、いい意味で「ブックスタート」をスタートさせて、その子たちが20年後大人になって、また次への段階になっていくのかなと思っています。今は、大人達が社会の中に子どもを出していくことを不安に感じる社会ですが、どこかで断ち切って変えていかなければいけないと思っています。

安達 みんな違ってみんないい。しかしながら、その共通基盤というのが大事なんですね。その共通基盤をみんなで作り出していくのがこれからの一つの大きい課題、それを推進していくのが県民活動支援センターの使命だと思います。県民活動支援センターに対する県民の認知度が80パーセント以上にもなって、ほとんどみんなが知っている状態になったらいいなと思っています。

船崎 団体の方の夢を形にしていくためのサポートをするのが、県民活動支援センターだと思っています。お話を聞いて、あらためて確認できたことがあり、新しい提案までいただきました。今日のお話を受けて、また県民活動支援センタースタッフ一同、よりよい支援を考えていきます。本日はみなさん、どうもありがとうございました。



らん交流センター支援グループ「kaze」



私達は「子ども達の笑顔」が大好き、「遊び」大好きな大人の集まりです。らん高原から、私達の熱いメッセージを感じてもらえるような風

を起こそうと発足しました。

らん高原が環境学習の拠点となるよう、今の子ども達にクラフト・ネイチャーゲーム・キャンプ等の自然体験を通して、人と人の関わり方や人と自然の関わり方を遊びの中から学んでもらいたいと願っています。

現在交流センターにて、子どもエコクラブ・森っ子倶楽部(家族単位)を開設して毎月1回活動を行っています。

子ども会・スポーツ少年団・合唱団・小グループ等の日帰り企画や合宿に適している「らん高原交流センター」をぜひご利用ください。山菜を中心とした「らん定食」は人気メニューです。



代表 田中さん

代表者: 田中 時子

住 所: 740-0903

玖珂郡錦町大字大原523番地 らん高原交流センター

連絡先: TEL:0827-74-0520 FAX:0827-74-0523

E-mail rakan52@abelia.ocn.ne.jp

URL: <http://lifelong.jp/rakan>

NPO法人 さわやか防府



さわやか防府は、少子高齢化が進むなかで障害者や高齢者、その家族などが住み慣れた社会のなかで、自分らしく生きがいを持って暮

らせる地域社会をつくるため、「困ったときはお互いさま」のたすけあい精神にもとづく福祉活動をおこなっています。

・特定非営利活動の種類 (1)保健、医療または福祉の増進を図る活動 (2)まちづくりの推進を図る活動

・事業内容 (1)居宅介護支援事業 (2)居宅介護サービス事業(訪問介護) (3)在宅福祉サービスの事業 (4)研修、啓発等の事業 (5)その他本会の目的を達成するに必要な事業

自宅、畑、庭を開放した「さわやかサロン」を開設しています。「老若男女、いつきてもいい、いつまでいてもいい、どんなふうにもいい、もうひとつのおうち...」。月～金開設、利用料無料。昨年はイベント38回。のべ550人の方がご利用になりました。



理事長 池本さん

代表者: 池本 忠平

住 所: 747-0012

防府市牟礼今宿1丁目21番27号

連絡先: TEL:0835-21-1985(事務長 池本 泰三)

FAX:0835-21-1981

NPO法人 共生のエートス



共生のエートスは「人と人、人と自然が、共に支え合いながら持続して繁栄できる社会を築くことが、現代に生きる我々の責務」だという思いか

ら産声を上げ、平成15年10月にNPO法人格を取得しました。「真締川ダムを世界一水のきれいなダムにしよう」等という高い目標を掲げ、種々の環境保全策を検討すると共に、地域全体の経済効果を相乗的に高めていくことで、ダムの効果的な活用を考えています。

官と民の協働により公共事業の新しい形が生まれ、環境保全への取り組みも実り多いものになると信じて日々活動を続けています。

公共工事等の建設における真の評価は、完成後住民がいかにその価値を感じるかにあります。私達は建設段階から協働で、完成後は環境整備と地域活性を推進しています。昨年、国土交通省から破格の評価を受けました。



代表 秋本さん

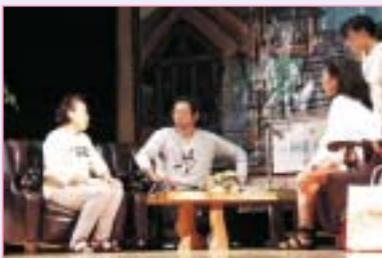
代表者: 秋本 貞光

住 所: 755-0084

宇部市大字川上704の30

連絡先: TEL:0836-35-3368(FAX兼)

劇団「わ」



周南市民により結成した素人劇団です。地域に関する劇の上演を行なうことにより、地域づくりに市民が参加できる場をつ

くることを目的に、平成13年に発足しました。年1回の公演にむけて、公民館での練習や会合、他の演劇グループとの合同練習、地域のイベントへの参加等いろいろな活動を行っています。公演は毎回自分たちの手で企画し、昨年は3回目となる公演「やまなみ人情」を10月に行いました。これからも、地域の人たちが、自分がその町に住んでいることが楽しいと思えるような活動をしていきたいと思ひます。

全員素人なのですが、観られた方に何らかの感動を与えたい、という気持ちで活動しています。いろいろな人に参加してもらいたいと思っています。メンバーも随時募集中で、年齢、性別は問いません。



脚本家 坂本さん

代表者: 亀谷 三千代

住 所: 745-0302

周南市大字鹿野上2928の11

連絡先: TEL:0834-68-2725(事務局 洞崎 伸治)

FAX:0834-68-3554

E-mail shaft@jasmine.ocn.ne.jp



お知らせ



県民活動振興基金へご協力を！

やまぐち県民活動きらめき財団では、企業や団体、個人の方々からご寄付をいただくことに感謝するオリジナル図書カード・クオカードを作成いたしました。

1,000円以上のご寄付をいただいた方にオリジナル図書カード、またはクオカード(いずれも500円分)を記念に差し上げることにしております。

ご寄付は県民活動振興基金に積み立てられ、その果実によって、幅広い県民活動の振興、支援、協働のための事業に活かされます。

カードのデザインは山口県萩市在住のイラストレーター蔵貫信氏による楽しくて夢のあるイラストです。

詳しいお問い合わせは下記まで。



助成金のお知らせ

平成17年度の県民活動団体への助成金については、ただいま募集案内を調整中です。調整が終了いたしましたら、すぐに財団のホームページ、またはさぼ〜とメール等でお知らせいたします。もしばらくお待ちください。

お問い合わせ・お申し込み先
財団法人 やまぐち県民活動きらめき財団

753-8555
山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館4F
TEL (083)924-9090
FAX (083)924-9096
E-mail kirazd@nifty.com
URL <http://homepage3.nifty.com/kirameki/>

ホームページのアドレスが変わりました！

「県民活動スーパーネット」と「県民活動支援センター」のホームページアドレスがそれぞれ新しくなりました。なお、旧アドレスも当分の間は使用可能です。



「県民活動スーパーネット」アドレス

<http://www.kenmin.pref.yamaguchi.lg.jp/>

「県民活動支援センター」アドレス

<http://www.kenmin.pref.yamaguchi.lg.jp/center/>

下線のlg.が増えました。



平成16年度 やまぐち県民活動支援センター活動報告

今年度のセンターは、新たに県内3ヶ所での協働ネットワーク事業、マネジメントセミナーを開催しました。また、11月から県民活動交流サロン(パルトピアやまぐち内)がオープンしたのに伴い、受付業務を担当しています。ぜひ、ご利用ください。

センター利用状況 (平成17年1月末現在)

- センター利用者総数 4191人
- 相談総数 1858件
- おでかけ相談会 開催数12回(県内9会場)
- セミナー参加者 104人
(ワークショップセミナー、マネジメントセミナー)
- 県民活動団体新規登録数 64団体
(平成11年からの累計 768団体)
- 県民活動交流サロン利用件数 20件

社会福祉会館4階
(財)やまぐち県民活動きらめき財団
やまぐち県民活動支援センター



やまぐち県民活動支援センター 利用時間のご案内
月曜日・祝日・年末年始を除く毎日
(12/29-1/3)
火~金曜日 9:00~21:00 / 土・日曜日 9:00~17:00

編集後記

3月は、様々な場面で出会いや別れの季節です。新しい生活に胸を躍らせている方、少し寂しさを感じながらも暖かく見送る方、どうぞすべての方に素敵な出会いがありますように。年度替わりを機に新しい活動を始められてはいかがでしょうか。